

道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道路事業の再評価概要書			番 号										
			事業主体	栃 木 県									
事業名	快適で安全な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課									
路線・河川名	主要地方道 <small>かぬましもつけ</small> 鹿沼下野線		事業箇所名	<small>しもつけし</small> 下野市 <small>こがねい</small> 小金井工区									
事業区間	<small>しもつけし</small> 下野市 <small>しきさほら</small> 笹原～ <small>こがねい</small> 小金井		事業延長	2.1km (一期工区 0.9km)									
H26 年度事業化		H26 年度用地着手		H29 年度工事着手									
事業期間	(R5) H26 年度～R15 年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【令和5年度末時点】										
[うち用地補償費]	[13.2 (12.0)億円]		進捗率	進捗率									
全体事業費	22.6 (20.0)億円		(全体)	(一期工区)									
うち一期工区	[6.0 (5.2)億円]		[うち用地補償費] [4.3 億円]	[33%] [72%]									
	12.9 (12.1)億円	既投資事業費	8.2 億円	36% 64%									
事業概要													
<p>主要地方道鹿沼下野線は、鹿沼市から下野市に至る幹線道路であり、下野市内では、3・4・801 号小金井西通りなど3つの都市計画道路として計画決定され、都市の骨格を形成する道路である。</p> <p>また、本路線の沿線には、石橋第三工業団地などの工業団地や救急医療機関が立地するほか、工区北側では(仮称)下野スマート IC が整備中であるなど、地域の産業、生活を支える道路である。</p> <p>本事業箇所は、国道4号を補完する新設道路として、県が整備を進めており、平成25年度に開通した本箇所北側の笹原工区(1.5km)に続き、平成26年度から整備を進めている。</p> <p>本事業箇所の整備により、既に南北で供用済みの区間が接続され、道路ネットワーク上のミッシングリンクが解消されるほか、国道4号で発生する渋滞の緩和、防災拠点や救急医療機関へのアクセス向上を図るものである。</p>													
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等													
<ul style="list-style-type: none"> ・労務資材単価の高騰等による増額(工事・用地) 20億円⇒22.6億円 (+2.6億円) ・用地取得に時間を要するため事業期間見直し 令和5年度⇒令和15年度 													
事業の投資効果													
1 費用対効果分析結果 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">【総便益 (B)】</td> <td style="text-align:center;">【総費用 (C)】</td> </tr> <tr> <td>(1) 事業全体 B/C=</td> <td style="text-align:center;">3.3 69.8 億円</td> <td style="text-align:center;">21.1 億円</td> </tr> <tr> <td>(2) 残事業 B/C=</td> <td style="text-align:center;">5.9 69.8 億円</td> <td style="text-align:center;">11.8 億円</td> </tr> </table>						【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	(1) 事業全体 B/C=	3.3 69.8 億円	21.1 億円	(2) 残事業 B/C=	5.9 69.8 億円	11.8 億円
	【総便益 (B)】	【総費用 (C)】											
(1) 事業全体 B/C=	3.3 69.8 億円	21.1 億円											
(2) 残事業 B/C=	5.9 69.8 億円	11.8 億円											
2 事業の整備効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・道路ネットワークの強化による地域間の交流連携の促進及び産業支援 ・渋滞緩和による交通の円滑化 ・防災機能の向上による平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保 													
事業の進捗状況等													
1 事業の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに、延長約300m区間の工事を実施 													
2 今後の事業進捗の見込み <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得、工事等を推進し、令和10年度までに一期工区完成予定。 ・令和15年度までに二期工区完成予定 													
コスト縮減等													
1 コスト縮減方策 <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減 													
2 代替案立案等の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・ルートは都市計画道路3・4・801 小金井西通りを基本としている。また、一期工区の用地取得が72%完了しており、工事の一部実施していることから、代替案立案は困難である。 													
事業の対応方針(案)		本計画で事業を継続する。											



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	主要地方道鹿沼下野線 小金井工区 <small>かぬましもつけ こがねい</small> 下野市 <small>しもつけ</small> 笹原 <small>ささほら</small> ～小金井 <small>こがねい</small> L=2.1km (一期工区 L=0.9km)
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

1

I 事業の概要

【事業路線及び位置】



主要地方道鹿沼下野線は、鹿沼市から下野市に至る幹線道路であり、下野市では、3・4・801号小金井西通りなど3つの都市計画道路として計画決定されている。

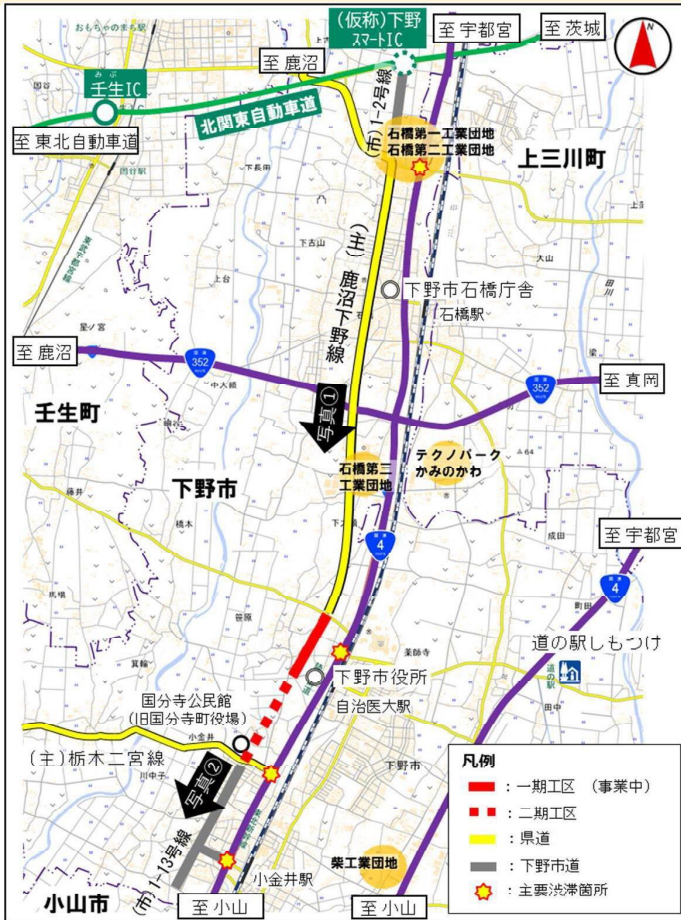
下野市内においては、国道4号と並行し、石橋地区と国分寺地区の市街地を結ぶほか、近隣には3つの救急医療機関が立地するなど、地域の生活を支える道路である。

また、沿線には工業団地が複数立地しているほか、工区北側では(仮称)下野スマートICが整備中であるなど、地域の産業を支える道路でもある。

2

I 事業の概要

【課題①】 ミッシングリンクの解消



本路線は、整備中の(仮称)下野スマートICから下野市南部地域を結ぶ重要な道路であるが、事業区間（延長2.1km）の整備が未了で、道路ネットワーク上のミッシングリンクの解消が必要である。



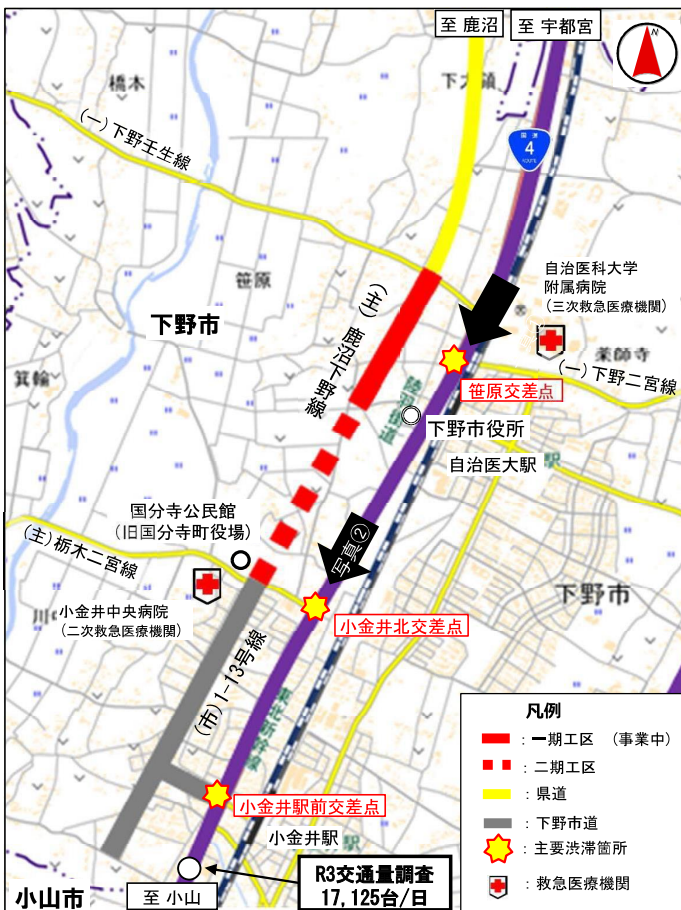
整備済み状況①
(主)鹿沼下野線



整備済み状況②
(市)1-13号線

I 事業の概要

【課題②】 国道4号における交通渋滞の緩和



本地域の南北交通は国道4号に集中しており、慢性的な渋滞が発生していることから、円滑な交通の確保が必要である。

- ・ 笹原交差点など3箇所が主要渋滞箇所に指定



渋滞状況 ① 笹原交差点



渋滞状況 ② 小金井北交差点

I 事業の概要

【課題③】 防災拠点・救急医療機関へのアクセス強化



本路線の周辺には、防災拠点や救急医療機関が多数立地しているが、主たるアクセス路は、通過交通量の多い国道4号が利用される。道路ネットワークの強化による防災機能の向上が必要である。

防災拠点	
災害対策活動拠点	下野市庁舎
避難拠点	国分寺公民館など
要配慮者専用避難拠点	保健福祉センターゆうゆう館 保健福祉センターきらら館 ふれあい館
広域物流拠点	道の駅しもつけ
救援物資集積拠点	国分寺海洋センター 国分寺運動公園 大松山運動公園
物資輸送拠点	国分寺運動公園など
消防活動拠点	各消防詰所
救急医療機関	
三次救急医療機関	自治医科大学付属病院
二次救急医療機関	石橋総合病院
	小金井中央病院

I 事業の概要

【目的】

新たな道路の整備により、道路の機能強化を図ることで、以下の目的達成を目指す。

- ・ 道路ネットワークの強化による地域間の交流連携の促進及び産業支援
- ・ 渋滞緩和による交通の円滑化
- ・ 防災機能の向上による平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保

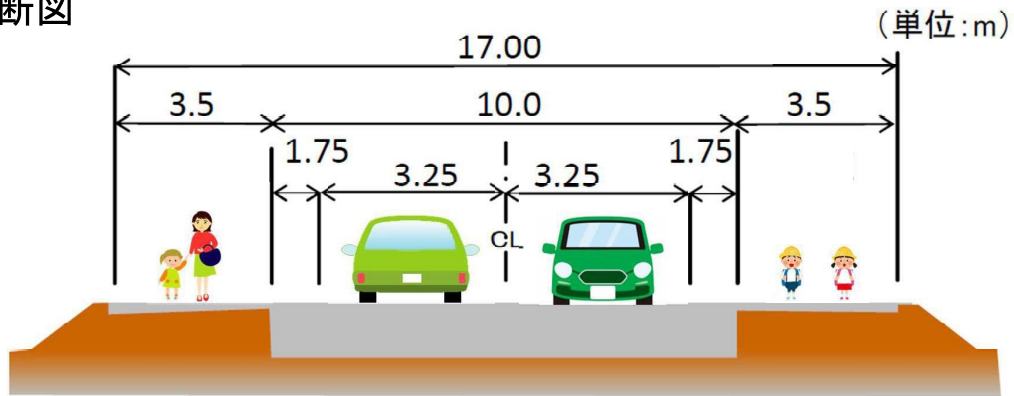
I 事業の概要

【計画概要】

■計画諸元

延長	: 2.1km (うち事業中の一期工区 0.9km)
全幅員	: 17.0m
車線数	: 2車線
道路区分	: 3種2級
計画交通量	: 8,600台/日
設計速度	: 60 km/h

■標準横断図



7

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和5年度末時点

	全体	一期工区	備考
事業進捗率	36%	64%	事業費ベース
(1) 用地進捗率	33%	72%	事業費ベース
総地権者数	78名	38名	
残地権者数	55名	15名	
(2) 工事進捗率	30%	41%	事業費ベース

工事実施済み区間の状況



- 凡例
- : 一期工区 (事業中)
 - : 二期工区
 - : 県道
 - : 工事実施済み
 - : 下野市道



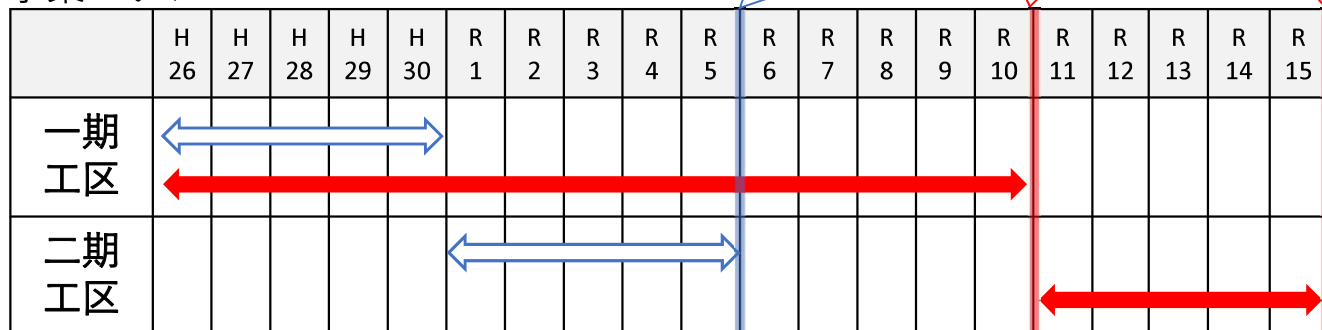
8

II 事業の評価

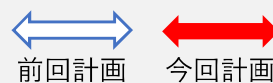
【今後の事業進捗の見込み】

- 事業期間の見直し
令和5年度 ⇒ 令和15年度

事業スケジュール



- 延伸の理由
用地取得に時間を要するため



- 今後の見通し
【一期工区】 令和8年度までに用地取得完了し、令和10年度に完成予定
【二期工区】 令和15年度に完成予定

9

II 事業の評価

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (H25年度)	⇒	今回計画
	事業費	20.0億円	⇒	22.6億円 (+ 2.6億円)
内	工事費	8.0億円	⇒	9.4億円 (+ 1.4億円)
訳	用地補償費	12.0億円	⇒	13.2億円 (+ 1.2億円)

■ 工事費の増額

労務資材単価の高騰等による増額 + 1.4億円

■ 用地補償費の増額

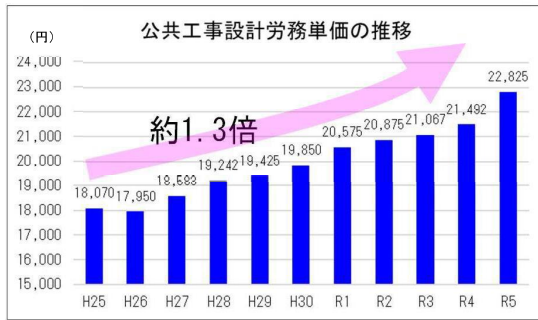
住宅建築資材の高騰等による増額 + 1.2億円

10

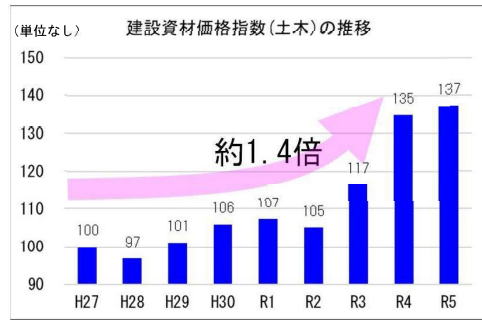
Ⅱ 事業の評価

【全体事業費の見直し】

- 【工事】 労務資材単価の高騰等による増額 **+1.4億円**

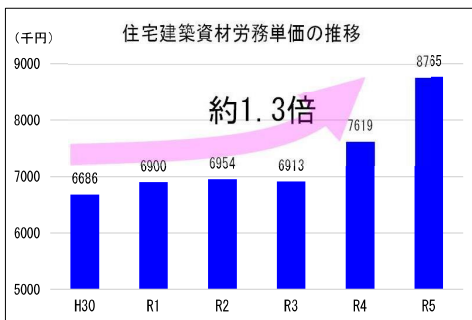


※栃木県 公共工事設計労務単価表より
主要12職種の平均値



※一般財団法人経済調査会ホームページより
H27を基準(100)とした場合の宇都宮におけるセメント、
生コンクリート、骨材、瀝青材、普通鋼材の平均値

- 【用地】 住宅建築資材の高騰等による増額 **+1.2億円**



※関東地区用地対策連絡協議会資料より
木造工事及び鉄骨工事の労務資材単価

11

Ⅱ 事業の評価

【事業の投資効果】

費用対効果分析結果

	B / C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	3.3	70億円	21億円
(2) 残事業	5.9	70億円	12億円

注) B/Cの値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

十分な投資効果が得られる見込み

道路事業における便益

交通解析等の手法により、当該事業の有無による交通量や速度変化などの差分を計測し、貨幣換算したもの

⇒ 「**走行時間短縮**・**走行経費削減**・**交通事故減少**」の便益を合算して算出

12

Ⅱ 事業の評価

【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減
- 建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減

2 代替案立案等の可能性

- ルートは都市計画道路3・4・801号小金井西通りを基本としている。
- また、一期工区の用地取得が72%完了しており、工事も一部実施していることから、代替案立案は困難である。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。